河合　正雄　先生

<table>
<tr><td>
先生のプロフィール
【専攻】
　憲法
【経歴】
2001 年早稲田大学法学部（～2005 年）
2005 年早稲田大学大学院法学研究科修士課程（～2007 年）
2007 年早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程（～2013 年）
2013 年弘前大学人文学部講師・人文社会科学部講師・人文社会科学部准教授（～2021 年）
2021 年南山大学法学部准教授（現在）
</td><td> </td></tr>
</table>

☆河合先生へインタビュー☆

Q１．今まで担当したことある授業について教えてください！

憲法系の講義科目すべて、B 演習、M 演習、P 演習、A 演習、大学入門（法学部）、司法特修講義Ⅰ、日本国憲法、マスメディア論

Q２．ゼミ活動で今後活動したいと考えていることは何ですか？

定期的に懇親会や合宿が開催され、緩やかにまとまりがあるゼミにしたいです。報告準備・議論・懇親会の企画など、得意分野を生かした役割分担が自然にできると理想的です。もっとも、就活時期が早まるなど、今の学生は 20 年前よりも明らかに多忙なので、無理のない範囲で行えば良いと思います。

Q３．河合ゼミと言えば…？

良くも悪くもゼミ生によって左右される側面が大きく、年度や学年によって雰囲気がかなり違います。

Q４．先生からのメッセージお願いします！

学部生時代は比較的自由に過ごすことができる一方で、あっという間に卒業を迎えてしまいます。貴重な 4 年間ですので、できるだけ社交的になることを意識し、多くの人と交流すべきだと思います。

【ゼミ生にきいてみた】

Q１．ゼミ生から見た河合ゼミ

自由にのびのびと活動のしやすいゼミだと思います。発表においても生徒の意思を尊重したテーマ選びと日程調整をしてくれます。発表の経験が少ない方でも安心して学ぶことができるようにわからないことは先輩方に聞ける空気づくりなど、公私において仲良く活動ができるように教授が頑張ってくれているので助かります。

Q２．ゼミ生の特徴

楽しくはしゃぐときと真面目に発表する切り替えをしっかりしている生徒が多い印象です。中にはとんでもなくおしゃべりな生徒もいますが、そんな生徒でも発表中は真面目に発表を聞き、発表者とその他の生徒が一丸となってゼミの活動を充実させている印象です。

Q３．ゼミに入って苦労したこと

テーマベースの発表になるので、それまでの判例研究とは異なり、多角的な視点からテーマを見る必要があります。そのため、資料に基づいたレジュメづくが重要になり、その資料集めに苦労しました。また、質疑応答の時間も十分にあるので、その場で質問に答えられるようにそのテーマについて発表者が十分に理解している必要があります。その対応になれることが苦労しました。

★ プログレッシブ 河合ゼミの実態！（2025 年度ゼミ生 25 名）

★ 河合 先生のトリセツ

・とてもやさしく、生徒を尊重したゼミ活動をしてくれます。 ・丁寧な言葉遣いで、生徒が話しやすい空間づくりをしてくれます。 ・発表においては良い点と悪い点を簡潔に説明してくれます。 ・生徒が相互作用をもって刺激しあえるように期間ごとで機会をつくってくれます。 生徒第一で授業を行ってくれる成長できる先生です！

河合ゼミの特徴

【活動内容】 ・テーマ研究・論文発表 ・合宿・懇親会　　など ゼミ活動だけでなく、プライベートにおいても仲良くなれるように機会を作ってくれます！ ３年生：１２人　　（男９人：女３人） ４年生：１３人　　（男１０人：女３人） 基本的に生徒たちがワイワイ楽しんでいます！